

## 新理事長に藤城さん選出 2014年度再生市民会議総会開催

総会議長に寺島靖夫さんを選出し、正会員65人の中で、46人（内委任状19人）の出席で総会が成立していることを報告し、審議を行いました。第一号議案は、昨年度の活動



報告、決算、監査報告です。活動報告では、「ティーパーティ」が7月に始まったことや再生事業を立上げるために、株式会社の設立を模索したこと、中部大学COC事業との連携などの多彩な報告があ

どんぐりsから

新理事長挨拶

藤城 栄一

なんの因果か、このたび理事長を務めることになりました。豊かな見識・情報・人脈をお持ちだった曾田前理事長とは比べるべくもありませんが、何とか住みよいニュータウンの実現のために非力ながら尽力したいと考えております。どうか、ご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

今、高蔵寺ニュータウンには2つの新しい風が吹き始めているように思えます。一つには、この“まち”を何とかしたいという人々による内側からの風です。もう一つは、中部大学のCOC事業や、春日井市の市政アドバイザーの設置など、外側からの風です。この2つの風をどう融合させていくかが、まちづくりの大きな鍵となると考えています。そのためにどんぐりsとして何ができるかを、皆で考えていきます。

また、これまでのどんぐりsの活動実績を踏まえながら、新規に生活支援事業に取り組んでいきたいと思っています。みんなで支え合う“まち”、笑顔のあふれた“まち”の実現のために、皆で力と知恵を出し合っていきましょう。

りました。

決算報告では、昨年8月の押沢台夏祭りでの「鮎の塩焼き」による事業収入などにより、昨年度より繰越金が増えたことが報告された。引続き金森監事から、監査報告がされました。



第二号議案は、今年度の活動計画と、予算の審議です。活動計画では、暮らしを支えるための事業を踏み出したいこと、そのための資金があまりにも少なく、補助金の獲得や事業による資金獲得の必要性が急務であることが藤城副理事長から提案された。

第三号議案では、新役員の提案があり、設立から理事長として働いていただいた曾田忠宏理事長の退任、監事就任と藤城栄一新理事長＝写真＝はじめ、理事・監事の提案がされ、満場一致で可決された。

休憩の後、今後のニュータウン再生のためには、①暮らしを支えるための事業活動、②地域住民と一緒に働ける事業活動、③事業を始めるための当初の資金とスペース（部屋）が必要であることについて会員で話し合いました。最後に、今後の協力をお願いし、藤城新理事長の閉会のあいさつで、閉会しました。

5月どんぐりsカフェ

# 進む、世代間交流の新しい試み —中部大学学生のお試し宿泊体験報告会—

核家族化の進行によって、高齢者の実態を知らない若者（学生）が増えている。一方、ニュータウンでは若年層が少ないため、高齢者が若者と接する機会が少なくなっている。こうした状



花いかだ遊泳 森 健

私の朝・昼・晩

## 第二のふるさと高蔵寺ニュータウン

中央台 臼田博幸

私の故郷は岐阜県山形市美山（旧山県郡北山村、織田信長が名付け親）。美しい山々、透き通った川の流れる中で、四季折々の花が咲き、冬は毎年1 疔近くの雪が降り自然環境に恵まれた中で育ちました。しかし、生活は厳しく中学を卒業と同時に名古屋に出て毎日5時に起きて皿洗いをしながら夜間高校、大学に通いました。

高蔵寺ニュータウンに入居したのは平成4年。バブル絶頂期で2年間に16回住宅公団の分譲住宅を申し込んだが落選。やっとのことで中央台に住むことができました。

22年間、この地に住んで、時の流れ、社会の変化（特に自然の中で生かされる人間の心の変化）を目の当たりにする今日、第二の故郷であるニュータウンの活性化に向け微力ながら皆さんと力を合わせ、思い出の残るすばらしい街を築き上げたいと考えております。

況を何とかしたいということで中部大学生命健康科学部の教員と学生が取り組んでいる事業が「お試し宿泊体験」である。今回、そのホストファミリー役を務められた玉井さん、鶴田さん（お二人とも藤山台地区在住）をお招きし、その体験談をお聞きした。

普段一人暮らしの玉井さん（86歳）は、男子学生（3年）との1泊2日の体験で、自ら食事を作ってもてなし、逆に学生からパソコンを教えてもらったという話を、また、鶴田さん（61歳）は男子学生（3年）との3泊4日の体験で、鶴田さんの生活実体験の話をしたり、一緒に食事を作ったり、家族で外食に出かけたりしたことなどが話された。お二人とも学生に対して好印象をもたれ、その後も、折に触れて電話やメールでの交信があり、交流が持続しているとのことであった。



参加した方々からは、少しハードルが高いので日帰り体験という形があっても

よいのではないかと提案を含めて、さまざまな意見交換があった。中部大学の戸田香先生からは、今回の体験を活かしていきたいとの抱負も述べられた。

世代間交流の更なる進展を期待したい。

## 6月どんぐりsカフェご案内

テーマ：『トヨタ流で考えた高蔵寺再生についての一考察』

講師：高木洋一さん（石尾台町内会自治会協議会長）

日時：6月21日（土）13：30～16：00

会場：東部ほっとステーション（アピタ南館1階南側入口）